

## 第16回日本臨床環境医学会総会（東京）開催のご案内

第16回 総会会長 木村 穰

日本臨床環境医学会は、国際学会として旭川で開催された第1回の総会を皮切りに、その後も東京あるいは旭川で年一回開催され、最近では久留米や仙台でも開催されております。今回は再び東京での開催となりました。

本学会は、人間をとりまく環境に起因する疾病や生体への影響について、その健康影響への実証、診断法の確立、また、それに伴う予防方法や治療法の開発に大きな貢献をしてきております。これまでにシックハウス症候群に対する社会の認識が高まり、学会を立ち上げた先達の大きな努力により、建築基準にも取り入れられたことは大きな成果と言えましょう。現在の参加者は医学、薬学、保健学、福祉学、毒性学、産業医学、公衆衛生学、食品学、栄養学、建築学、遺伝子学、分子生物学など多方面にわたってきており、裾野が拡大するとともに、社会的関心の高さを反映する学会として環境と関わるヒトの健康の問題を多視的に追求できる学会として期待されていると言えます。

今回の総会テーマは大きく「人と環境の関わりを考える」としました。事務局は東海大学医学部分子生命科学系の木村研究室が担当します。私自身は分子遺伝学的アプローチをしておりますが、是非多くの分野の方々の参加を切に願います次第です。

**開催日時：**2007年（平成19年）7月7日（土）9：30～17：30

2007年（平成19年）7月8日（日）9：30～12：30

**開催場所：**東海大学短期大学部高輪校舎 (<http://www.ttc.u-tokai.ac.jp>)

〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23

TEL: 03-3441-1171 FAX: 03-3447-6005

品川駅より徒歩約15分、都営地下鉄浅草線泉岳寺駅より徒歩約10分

地下鉄南北線・都営地下鉄三田線「白金高輪駅」徒歩8分

**特別講演** 「ポストゲノム時代のヒト疾患解析とその展開」（仮題）

猪子英俊 東海大学医学部教授

**シンポジウム** 「ヒトは化学物質にどう対処するか」（仮題）

「環境と遺伝子の相互作用がもたらすもの」（仮題）

ワークショップ、公開シンポジウムについては検討中。

**理事会：**7月6日（金）16：00～18：00 場所未定

**評議員会：**7月7日（土）12：00～13：00 高輪校舎内会議室

**総会：**7月7日（土）13：00～13：30 高輪校舎内講堂

**懇親会：**7月7日（土）18：00～20：00 高輪校舎内ラウンジ

**総会参加方法**（詳細は改めてご案内を差し上げます）

1) 第16回日本臨床環境医学会総会ホームページから、演題申し込み、参加登録等の手続きをしていた

だきます (現在準備中)。

<http://square.umin.ac.jp/jcel6/>

2) 発表者 (筆頭発表者および共同発表者を含む) が日本臨床環境医学会の会員でない場合は、学会事務局への入会手続きをとるか、所定の発表料をお支払いください。

### 3) 諸費用等

総会参加費：10,000円 (参加費には懇親会費を含みます)

出題費：3,000円 (一般演題1題につき一律3,000円とさせていただきます)

抄録集代金：2,000円 (学会員には事前に無料で送付致します。非学会員は学会当日に会場受付でお求めください)

懇親会費：3,000円 (総会参加者は無料です)

### 一般演題申込み

1) 発表形式は口演発表とします。現在のところ、口演時間7分質疑応答時間3分を予定しております。口演はPC (PowerPoint) を用いての液晶プロジェクター映写の予定で、電子媒体の持参をお願いします。

2) 演題申込み締切：平成19年3月31日 (土)

抄録原稿締切：平成19年4月30日 (月)

なお、詳細については再度事務局からご案内を差し上げる予定です。

大会事務局：〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143

東海大学医学部基礎医学系分子生命科学内 第16回日本臨床環境医学会事務局

Phone 0463-93-1121 内線2607 FAX 0463-96-2892

E-mail: [kimura@is.icc.u-tokai.ac.jp](mailto:kimura@is.icc.u-tokai.ac.jp)

(詳細案内を差しあげる時点で変更の可能性もあります)